

第1号議案 2009年度（平成21年度）事業計画（案）

並びに収支予算書（案）に承認を求める件

2009年度活動方針総括

神内 擴行（横浜リハビリテーション専門学校）

2008年度の事業も無事につつがなく終えようとしております。これもひとえに会員の皆様と役員の方々のご理解とご協力の賜物と深く感謝いたします。特に、約7年間にわたって士会の大きな負債でありました事務所ローンの返済が、予定よりも早く、今年度内で完済できる運びになり、役員一同ほっと肩の荷を降ろす心境であります。役員の方々の真摯で堅実な活動に感謝いたしますとともに、次年度は重い負担から開放された新しい気持ちで、新規事業に取り組んで行きたいと思っております。

法人組織である本会の目的は、神奈川県民の健康・医療・福祉・介護の分野に貢献することと、神奈川県理学療法士会会員の立場と権利を守ることであることは言うまでもありません。新年度の事業につきましては、その2つの目標をより積極的に推進するために、事務局・学術局・社会局の3つの局にそれぞれ2つずつの重点目標を掲げ、各局に属する各部・委員会が実際の事業を推進するという形で、以下のような重点事業を提案したいと思っております。

1. 事務局重点事業

- ① 公益法人改正に伴う推進検討事業
- ② 会員カード普及推進事業

2. 学術局重点事業

- ① 第49回日本理学療法学会大会誘致活動事業
- ② 生涯学習支援活動事業

3. 社会局重点事業

- ① 理学療法フェスタ再検討事業
- ② 関連団体等とのネットワーク強化事業

県民に対する本会の公益事業や会員に対する学術・講習事業が、しいては県内における理学療法の啓発につながり、理学療法士の役割を広く認識していただくための手段である事を理解していただきたいと思っております。

健康・医療や福祉・介護といった社会での、リハビリ（理学療法士）に対する理解を深めていただくためにも、県内の理学療法士が結束を強め、真摯な態度で社会に貢献してゆく必要があると思っております。今後とも、より以上のご理解とご協力をお願い申し上げます。

事務局担当理事

常任理事 林 克郎（横浜リハビリテーション専門学校）
理事 広瀬好郎（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）
理事 大槻かおる（大和市立病院）

事務局

事務局長 山口泰成（森の里病院）

昨年度に引き続き、事務所機能の充実を図ります。2009年度は事務職員3名体制を継続し、3名の合計勤務時間を最大週100時間とします。この他に事務所の管理業務を担当する有資格者を週数回程度雇用する方向で検討します。事務所では理事会議事録作成、ニュース求人広告管理、広報活動を中心としたホームページ更新、メールマガジンの配信等、担当部署との連携を図り遂行します。新たにホームページ内での求人募集等を検討します。また、クレジット機能付き会員証の発行に向けて協会と連携を図り推進していきます。2008年12月より施行された公益法人制度対応に向けた予算書等の書類を統一化させる方向です。各部委員会の行っているルーチンワークを事務所へ委譲させ役員の負担軽減を図ります。この他、主な事業は以下のとおりです。

- 1, 入退会, 転入出等会員管理事務
- 2, 各種文書收受, 公文書等発送管理
- 3, 総会, 理事会の開催事務
- 4, 経理事務
- 5, 会費徴収事務
- 6, 現金出納事務
- 7, 会員、関係機関、県民等からの各種問い合わせの対応
- 8, ホームページ更新管理
- 9, 広告管理業務
- 10, メールマガジン配信業務
- 11, その他

総務部

部長 角掛洋行（横須賀市立市民病院）

総務部は、以下の係を統括し、総務全体の業務を行う

書記係

係長 齊藤和男（新戸塚病院）

- 1、常任理事会議事録・理事会議事録の校正
- 2、総会議事録の作成・保管およびニュースへの投稿
- 3、その他、会議の記録に関すること

新人オリエンテーション係

係長 木下尚久（介護老人保健施設つくしの里）

- 1、県内就職者（新卒者）の把握
- 2、新人オリエンテーション案内状の発送
- 3、事務局と協力のうえ、入会手続き事務の実施
- 4、その他（参加者への昼食手配等）

ウェブサイト管理部

部長 林 克郎（横浜リハビリテーション専門学校）

- 1、本会学会ホームページおよびエントリーページの整備について検討
- 2、ホームページの維持・管理
- 3、各部局によるホームページ活用の推進

ニュース編集部

部長 坪内敬典（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）

1. 士会ニュースの発行
年6回奇数月に発行する
予定発行部数
平成21年5月号（No.227）～平成22年3月号（No.232） 3050部
※部数は会員数に合わせて調整
2. ニュース編集会議・企画会議の開催
毎月2回
3. ニュース記事の取材
必要に応じて士会の活動に関する取材を行う
4. ニュースのデジタル化の検討
情報の公平性を維持しながらデジタル化を行うために検討をしていく。
5. 次年度の編集部の引継作業
今年度で任期が終わるため、次期の担当施設へ引継を行っていく。

社会局担当理事

- 常任理事 炭 孝昭（太田総合病院）
理事 中村さち子（平塚市民病院）
理事 惣田 洋（横須賀共済病院）
理事 露木昭彰（(有)足柄リハビリテーションサービス）

社会局

- ①部局再編成後の各部の事業状況の確認
- ②部局間をまたがる事業についての連絡調整

公益事業推進部

部長 相馬光一（神奈川リハビリテーション病院）

1 から 7 については理学療法普及啓発キャンペーン「理学療法フェスタ」として実施します。

期間は平成 21 年 7 月 1 日から 8 月 31 日です。

1. 公開講座 介護予防キャラバンとして実施
日時：7 月
会場：未定
内容：介護予防
講師：検討中
2. 公開セミナー
日時：未定
会場：県内養成校を予定
内容：検討中
講師：検討中
3. 公開シンポジウム 障害児・者を対象にした内容
日時：8 月 30 日
会場：障害者スポーツ文化センター横浜ラポール
内容：検討中
シンポジスト：検討中
4. 傷害予防セミナー
日時：未定
会場：かながわ県民センター ホール
内容：検討中
講師：検討中
5. 理学療法見学会
日時：8 月

会場：病院等 8 ヲ所程度（検討中）

内容：ビデオ上映（理学療法業務の紹介：日本理学療法士協会編）
理学療法業務見学

6. 理学療法相談会

日時：7月8月

会場：理学療法月間事業開催各会場

内容：理学療法・理学療法士に関わる相談

7. ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド（主催：横浜市リハビリテーション事業団）

日時：7月24-25日

場所：パシフィコ横浜

内容：ブース出展、パネル展示、パンフレット配布

スポーツ支援・健康増進部

部長 渡邊裕之（北里大学医療衛生学部）

1. 高校野球メディカルサポート

第 91 回高校野球神奈川県大会の準々決勝から決勝大会まで実施する。メディカルサポートは試合後のストレッチと試合中に発生した傷害等に対する処置について要請に応じて実施する。

メディカルサポートに先立ち技術講習会を 2 回、終了後に 1 回実施する。

HP を通じて公開しているストレッチ方法のマニュアルを更新する。

2. 傷害予防講座

県民を対象にスポーツ傷害の対処法と予防法について講演と実技を行う。

3. 競技団体に対する支援の確立

県体育協会との協力体制について審議を続け、県下の各競技団体に対する支援体制を組む。

環境支援部

部長 長澤充城子（川崎市れいんぼう川崎）

1. 福祉用具スキルアップ研修会

日時：平成 21 年 9 月～10 月頃

場所：未定（平成 20 年度会場ウィリング横浜介護実習室を候補）

内容：福祉用具に関する講習および実技講習

講師：検討中（平成 20 年度講師を継続依頼予定）

2. 住宅改修研修会

日時：平成 20 年 8 月ごろ予定

場所：未定（平成 20 年度会場ウィリング横浜研修室を候補）

内容：住宅改修における建築の基礎知識に関する研修

講師：1 級建築士予定（平成 20 年度講師内諾済み）

3. 部会の開催

事業遂行のため、10 回程度部会を開催する

中途障害支援部

部長 曾根 理（鶴巻温泉病院）

1. 事業内容
 - (1) 関連職種研修会の運営
2. 組織体系
 - (1) 部員 6名
 - (2) 組織体制
 - ① 部長 1名
 - ② 部員 5名
3. 事業計画
 - (1) 2009年5月：内容打ち合わせ、講師・会場の決定
4. 会議開催
 - (1) 場所
 - ① 鶴巻温泉病院
 - (2) 開催予定
 - ① 2009年5月
 - ② 第2水曜日予定
 - ③ 時間 18:30～20:00

発達障害支援部

部長 平井孝明（神奈川県立こども医療センター）

1. 公開シンポジウムの開催
日時：平成21年8月30日（日）
場所：横浜ラポール、ラポールシアター
対象：一般県民対象、無料
テーマ：未定
予定参加人数：未定
2. 地域作業所・グループホーム職員研修
目的：障害を持つ人への介助法と健康管理について理解を深める。
日時：平成21年10月（予定） 10:00～16:00
場所：あゆみ荘
対象：地域作業所・グループホーム職員
内容：介助法の実際・介助者の健康管理についての講義と実技。
3. 横浜市地域支援事業（理学療法士巡回相談）
地域作業所に対し巡回健康相談を行い、利用者等の健康の増進を図る。
予定回数：100回
4. 県域作業所支援事業
県域作業所のニーズを掌握し、利用者・介助者の健康増進を図る。
5. 公開シンポジウム記録集のまとめ
平成21年度の公開シンポジウム記録を要約する。
6. 小児理学療法ガイドブック（第3版）の更新

神奈川県における小児理学療法実施施設名称、連絡方法、内容等をホームページ上で更新する。

7. 小児理学療法講習会の開催

目的：小児理学療法の知識・技術について理解を深める。

日時：未定

場所：未定

対象：当士会理学療法士（新人、もしくは一般病院や訪問看護ステーションに勤務し、小児理学療法に興味のある方）

内容：小児理学療法の評価と治療の実際についての講義と実技。

講師：発達障害支援部部員

8. 発達障害支援部部会の開催

事業遂行のため7回部会を開催する。

介護保険部

部長 相川浩一（介護老人保健施設アゼリア）

1. 介護報酬改定講習会

日程 4月・5月

場所 未定

対象 県士会会員

内容 介護報酬関連

2. 介護予防キャラバン

日程 7月

場所 未定

対象 神奈川県民

内容 介護予防関連

3. PT/OT 地域ケアネットワーク合同研究会

日程 2月

場所 未定

対象 PT/OT/その他

内容 未定

4. 介護保険に関する情報発信に等を検討

医療保険部

部長 広瀬 仁（太田総合病院）

1、主な事業内容

- ① 診療報酬に関する情報収集と調査
- ② 会員に対する診療報酬に関しての情報提供
- ③ 医療保険対象施設に関する調査
- ④ その他

2、5回/年の医療保険部会議の開催

4月から6月の間 2回の会議開催

その後1回/3ヶ月の頻度にて会議開催

会員ライフサポート部

部長 萩原文子（川崎社会保険病院）

1、研修会開催（2回）

日時：未定

会場：未定

内容：検討中（PT ママの交流の場・子育て相談など）

2、新人教育プログラム I - 1 にて講習

3、会員ライフサイクル問題の情報を収集し、検討する。

①管理職を対象とした職場環境に関する実態調査を行なう。

②育児経験のある男性 PT への実態調査を行なう。

③復職支援について検討する。

4、情報提供（活動報告）

①士会ニュースに出産・子育て体験者の経験談や関連情報を掲載する。

②士会ホームページに活動状況・関連情報などを掲載する。

③育児経験のある男性 PT への実態調査結果を関東甲信越ブロック学会など

にて

報告する。

5、会員ライフサポート部会の開催

事業遂行のため10回の部会を開催する。

学術局担当理事

- 常任理事 畠中泰司（横浜市立大学附属病院）
理事 松永篤彦（北里大学医療衛生学部）
理事 菅原憲一（神奈川県立保健福祉大学）
理事 湯田健二（海老名総合病院）

学術局

- 1、学術サークル助成事業
- 2、神奈川県病院学会への協力（学術委員及び学会運営委員派遣）
- 3、（社）日本理学療法士協会事業への協力（現職者講習会等の開催）
- 4、全国学術・教育担当者会議出席

学術講習部

部長 太附広明（相模原協同病院）

1. 部会の開催
多施設から構成した 15 名程度の部員で年間約 6 回の部会を開催し、講習会内容を企画する。
2. 講習会について
年間 4 回の講習会を開催する。
そのうちの 1 回は小児領域の内容とする。
3. 神奈川県からの委託事業として「リーダー育成のための研修会」を開催する。
4. 講習会参加申し込み方法を基本的にウェブ登録とする。

生涯学習部

部長 川村博文（神奈川県立保健福祉大学）

1. 新人教育プログラム研修会

①1 年次研修会（5 単位）

6/21（日）：神奈川県立保健福祉大学 講堂

- テーマ
1. 協会組織と生涯学習システム(総会開催と合わせる。)
 2. 職業倫理・管理運営
 4. 理学療法士・作業療法士法および関係法規
 3. 地域におけるリハビリテーション
 6. 症例検討 I

②2 年次研修会（5 単位）

9/6（日）：横浜市立大学

- テーマ
1. 学問としての理学療法と研究方法論
 2. 人間関係および労働衛生
 3. 生活環境支援

4. 社会の中の理学療法
6. 症例検討Ⅱ

③3年次研修会（3単位）

12/6(日)：神奈川県立保健福祉大学 講堂

- テーマ
1. 理学療法士と保険制度
 3. 世界の理学療法
 6. 「症例検討Ⅲ」(学術発表および論文発表)

第3回 神奈川県理学療法士会症例検討発表会開催

2. 部会開催と関係会議の出席

- 1) 部会開催：5回程度
- 2) 関東甲信越ブロック新人教育担当者会議出席予定

データ管理係

係長 田中健康（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）

- 1、新人教育プログラムの枠入れ作業
- 2、県士会員の学術参加状況のデータ入力・管理
- 3、新人教育プログラムに関する諸手続
- 4、部会開催：5回程度

学術誌編集部

部長 山崎哲司（横浜市総合リハビリテーションセンター）

1. 部員および部会
部員は5名(7名程度まで増員予定)。部会は年10回程度を予定。
2. 『神奈川県理学療法士会・会報「技術と研究」第38号』の編集・発行
特集テーマに関する学術論文や投稿原稿などを掲載し、本会の学術誌として発行する。
3. 査読委員会と査読マニュアルの作成を検討する。
4. 講習会・研修会の録画ビデオの保管・管理の業務を行う。また、今後の保管方法や貸出し等の業務について検討する。

査読委員会

委員長 萩原章由（横浜市立脳血管医療センター）

- 1、委員会 年2回開催予定
- 2、査読マニュアル作成
- 3、『神奈川県理学療法士会 会報「技術と研究」』の投稿原稿の査読

臨床実習教育部

部長 坂本美喜（北里大学医療衛生学部）

1. 臨床実習に関する講習会の開催
神奈川県委託事業として、臨床実習指導者研修会を開催する。

日程：平成 22 年 2 月頃

場所：未定

内容：臨床実習指導方法に関する講演会

2. 臨床実習教育部主催の研修会を開催する

*臨床実習の現状を知り、今後の臨床実習教育について検討する。

1) 開催時期：平成 21 年 9 月頃

2) 内 容

*テーマ；未定

*ワークショップ形式として、参加者が活発に意見交換できるようにしたい。

3) パネリスト：1～2名程度（施設側、養成校側、各 1 名）

3. 関東甲信越ブロックにおける臨床実習指導者研修会の準備

現在、日本理学療法士協会から各ブロック単位で臨床実習指導者研修会を開催するよう方針がだされている。

そのため、3～4年後を目標に、神奈川県士会主催で関東甲信越ブロックにおける臨床実習指導者研修会（2日間開催）を開催できるよう、徐々に準備をすすめる。

学術大会部

部長 眞保 実（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）

1、次期学会長の選出

学会長の選出・推薦方法に関して協議をし、長期的な計画の見直しを図る。

2、開催地区の選定

学会長の選出と同時に開催地区の選定に関して、長期的な計画の見直しを図ると同時に開催地区のカテゴリー分けを再検討する。

3、神奈川県理学療法士学会準備委員会進捗状況の確認

神奈川県理学療法士学会長より進捗状況の報告を受け、理事会報告を行う。

4、学会運営に関する資料などの整理及び管理

局に属さない部・委員会

組織検討委員会

委員長 萩原利昌（川崎市百合丘障害者センター）

- 1、神奈川県理学療法士学会学会長及び準備委員長経験者との打合せ会の開催
 県域ブロック化を見据えて、学会長・準備委員長経験者の方々から意見聴取
- 2、今後の神奈川県理学療法士会組織のあり方について報告書提出
- 3、委員会の開催

IT化推進委員会

委員長 澤田明彦（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）

- 1 インフラ関連
 IT化に必要なインフラの検討
 利用コストの妥当性に関する検討
- 2 印刷物関連
 士会の発行する冊子等印刷物の電子化に関する検討
- 3 委員会開催

規約審議委員会

委員長 植松豊子（川崎市立井田病院）

- 1、公益法人制度改定への対応
- 2、組織改正に伴う分掌規程の見直し
- 3、その他、規約に関すること

表彰審査委員会

委員長 磯部貴光（七沢リハビリテーション病院脳血管センター）

- 1、（社）日本理学療法士協会 協会賞推薦
- 2、神奈川県知事表彰（神奈川県保健衛生表彰）推薦
- 3、神奈川県公衆衛生協会会長賞推薦
- 4、その他表彰等の推薦
- 5、被表彰者名簿および表彰規程等の検討
- 6、その他

選挙管理委員会

委員長 第25回通常総会にて選出

平成22年3月 （社）神奈川県理学療法士会 役員選挙

第 27 回神奈川県理学療法士学会

学会長 黒水俊吾（大船中央病院）
準備委員 25名程度
会 議 8回程度開催予定

第 49 回日本理学療法士学会誘致対策委員会

21年度内に委員長を決定し活動を進める。